

振り返り (2.9.25)

1年生の生徒 15名が山陰中央新報のヤングこだま欄を3週にわたって輝かせた。

「持ち続けたい季節楽しむ心」というタイトルで自分の意見を述べた生徒に思いを聞いた。

「子どもの頃、視線の先にあった雑草や咲き誇る花に自然美を感じていた自分。成長してそれを見ても関心なく通り過ぎるようになりました。子どもの頃の楽しみや無邪気さを忘れていることに気づきこんな自分ではいけないと思い、本文をしたためました。自然の美を見ると周囲の人々に対する感謝の気持ちが湧いていた子どもの頃の自分を忘れないように。」と語ってくれた。

自分もその心を忘れてはいけないと強く思った。

